

令和7年度学校評価報告

1 本年度の重点目標

(1) 基本的な生活習慣の確立と感性豊かでたくましい心の育成 自己管理能力の向上と社会で通用する礼節の定着を図るとともに主体的に学校行事や部活動、奉仕活動等に参加して他者と関わることに思いやりの心を育み、力強く社会に貢献できる人間を育てる。
(2) 確かな学力の養成 ICT環境の活用など授業改善に取り組むとともに学習習慣の形成に努め基礎学力の定着を図る。また、探究型学習をとおして自ら学ぶ態度を育成し、主体的に課題を解決する力を養成する。
(3) 進路第一希望の達成 自らの生き方について主体的な探究を重ねて「なりたい自分」を見つけ、その実現に向け「志教育」年間指導計画や進路シラバスを活用し、高い志を持って意欲的に努力する生徒を育てる。
(4) 学校生活満足度の向上 安全安心で生徒が満足感と充実感を持てる学校づくりを推進する。
(5) 働きがいのある職場環境づくり 生徒と向き合う時間を大切に、情報を交換し、協力しながら、充実感のある職場づくりを行う。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 主体的な学習姿勢の創出	B	・効果的な授業形態を組織的に研究・研修を進める。 ・タブレット一人一台端末の活用、効果の検証を行う。	A	B
	② 豊富な知識、豊かな教養を身につけた生徒の育成	A	・朝読書の継続・探究活動の校外での発表会への積極的参加等、プレゼンのスキルを向上させ、将来に生かす。個人探究に発展させる。	A	A
	③ 学びあう教職員集団づくり	B	・観点別(主体性)の評価の在り方を模索する。・生徒による授業評価、全教員による互見授業を継続する。・Classi の学習支援への活用を模索する。	A	B
学校関係者評価委員会における意見	・朝読書は良い取組であり、継続してほしい。・家庭学習の時間を確保させたい。 ・手書きによるメモの大切さを意識させたい。Classi の活用も期待したい。				
生徒指導	① コミュニケーション能力の育成と社会性の涵養	B	・探究活動での協働、グループワーク等を重視する。 ・行事等、クラス活動でのコミュニケーションを図らせる。	A	B
	② モラルの向上とマナーの定着	B	・挨拶は、来客等にも積極的に行う、より高い意識を持たせたい。 ・手帳によるスケジュール管理を多くの生徒に定着させる。	A	B
	③ 生徒会活動の活性化と「人のためプロジェクト」活動の奨励	A	・生徒が主体となる行事・委員会・部活動の充実をはかる。 ・普段の生活の中でのボランティア意識高揚をはかる。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・探究活動で学校給食をテーマとしたグループの取組では、地域への思いが感じられ、仲間との対話で作り上げた成果とを感じる。・ボランティアについては組織変更もあり、勢いが落ちた印象もある。築高の売りとなる部分であり、PRしてほしい。				
進路指導	① キャリア教育の充実	B	・進路情報のタイムリーな提供を行う。・長期休業中に従来実施してきた課外から、キャリアセミナーへの切り替えの実施、検証を行う。 ・探究活動において、市や地域の協力を得ながら、地域課題を設定させ、効果的なフィールドワークを実施する。	A	B
	② 外部教育力の有効活用	B	・講座・行事で外部講師を積極的に招聘する。 ・受験させる模試を精査し、傾向の把握に努める。課外の設定を検証し、効果的な実施を図る。	A	B
	③ 進路実績の向上	A	・国公立大学(15名以上)、公務員合格(15名)、看護学校+看護系進学(7名以上)をそれぞれ目標値として指導にあたる。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・進学実績や公務員合格状況が良くなった。 ・本校キャッチフレーズにある「なりたい自分」を1年生のうちに見つけさせたい。				
が学校の生活満足度のある職場づくりの向上・働き	① 安全・安心な学校づくり	B	・面談やアンケート等により、いじめの早期発見と未然防止に努める。 ・防災訓練や安全点検を継続する。	A	B
	② 情報発信力の向上	A	・約1000件/日のアクセスが続いているが、こまめな更新が必要である。	A	A
	③ コンプライアンス・チェックシート活用による服務規律の確保	A	・毎月のコンプライアンス・チェックシートによる確認、職員会議等での注意喚起を継続する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・HPの更新をもっとこまめに行った方がよい。 ・いじめや安全対策など、安心安全な学校づくりが考えられている。				